



耐久 ~真健美~



平成28年度
和歌山県立耐久高等学校 全日制
Monthly Times August
マンスリータイムズ 8月号

◆ 見て、聞いて、心は動き、チャレンジへ

6日、本校夏休み恒例の大学研究として、大阪市立大学のオープンキャンパスに、2年生を中心に203名の生徒が参加しました。市大キャンパスの大きさと充実ぶり、学生からの学部説明に感動して、志望の決意を固めるなど、203名それぞれの心揺さぶる機会となりました。さあ、これから具体的な行動へ着実につなげよう。



◆ 世界との対話や協働をめざして

アジア・オセアニア高校生フォーラムに参加した3年、白水紀香さんの感想「オール・イングリッシュの3日間、思いや考えを十分に伝えることが出来なかった歯がゆさを、次の目標、チャレンジに変えていきます」。フォーラムに引き続いて行われた第5回わかやま高校生クイズ in English、海外や他校の生徒とチームを作り、互いの智恵を出し合いながら、答にたどり着く楽しさを学びました。



◆ 戦争と平和を学びつけることに意義がある

9日、オバマ大統領の歴史的な広島訪問で注目された原爆の日に、登校日平和学習を行いました。大統領スピーチ原文をベースに、米国、韓国、中国、日本それぞれの国の歴史認識の違いを踏まえながら、平和について、自分の考えや思いをまとめる学習で、集中して取り組んでいました。



◆ 進路希望に焦点をあてた学び

9日、登校日の午後、和歌山県立医科大学保健看護学部の説明会を開催し、保健看護職を目指す1年から3年まで、約60名の生徒が参加しました。“資格取得だけでなく、人間を理解する学問を修める”等、大学の特色を説明していただきました。生徒からは、高校時代にどのような勉強をすべきか、大学卒業後の就職まで、多岐に渡る質問がなされ、大学の先生や本校出身の学生が丁寧に答えてくれて理解が深まりました。



◆ 全日本ジュニアバドミントン県予選会、単・複ともに優勝

JOCジュニアオリンピックカップ第35回全日本ジュニアバドミントン選手権大会和歌山県予選会において、山下玄(2年)がシングルス、松下羽衣(2年)・松下芽衣(1年)組がダブルスでそれぞれ優勝し、9月の全日本大会(愛媛県松山市)への出場を決めました。全日本ジュニア・いわて国体と全国大会出場が続きます。



◆ 2学期、良いスタートがきれました

25日、始業式で校長先生から、「前例にとらわれず、新たなやり方に挑戦する重要性をリオでの日本チームの活躍を例に話され、さらに桜梅桃李という言葉を取り上げて、それぞれの良さを活かすという心得と、それぞれの路でNo.1を目指す気概が大事である」との講話がされました。



◆ 耐久歴史資料に光を当てる

昨年オープンした「耐久史学館」充実の取組として、本校創設時からの教育的資料(医学書や論語など、濱口家から寄贈された教材・図書を含む)を整理する作業が、県立文書館、和歌山大学、奈良文化財研究所の専門家のご指導・ご援助を受けて始まりました。第1回目の7日には、各専門家の方々と和大的学生6名、同窓会有志、本校のボランティア生徒を加えた総勢27名が、約5000点の和装本や洋書、一点一点、資料に番号をつけ、付箋をはさんでいくという作業を進めました。江戸時代や明治初期の書物に触れる度に、感嘆の声があがり、これからの作業の大変さを感じるとともに、耐久の深い歴史にふれる良い機会になりました。今後も皆様の協力をいただき、作業を続けます。



◆ 不朽の名作「夢をかなえるゾウ」に感激しました

26日午後、海南市民交流センターにおいて、「劇団自由人会」が大ベストセラー小説『夢をかなえるゾウ』を高校生向けに新たに舞台化した～青春ロボット編～を観劇しました。将来の夢を漠然と描く高校生の息子と、ルール通りに歩ませようとする父親との、埋まらない溝。“人を幸せにしたいと願うとき、本当の夢はみつかる”、生徒にとっては共感を呼ぶテーマで、目の前で繰り広げられる迫力の演技に引き込まれた2時間でした。



9月の予定

- 1日(木) 一斉登校指導
センター出願説明会
- 9日(金) 3年小論文模試
- 10日(土) 3年医療看護模試
- 15日(木) 一斉登校指導
- 17日(土) 3年マーク模試
- 21日(水) 体育大会
- 27日(火) 2学期中間考査発表
学校評議員会 2学年懇談会
- 28日(水) 1学年懇談会

